



「防災体験給食」を実施します（関宮学園前期課程）

～命を守るローリングストック～

全国各地で大規模な災害が頻発している昨今、災害時の食の問題は重要です。阪神・淡路大震災をきっかけに、防災教育も進められているなか、公助に頼った食の支援では、量的・質的に被災者のニーズに応えることは難しく、適切な対応には、公助と自助が欠かせないことが指摘されています。

養父市では、毎年、防災の日である9月1日と阪神・淡路大震災が発生した1月17日を基準に市内の小学5年生を対象として、「防災体験給食」を実施しています。

栄養教諭による防災についての授業後、非常食（アルファ化米）を調理し、食べる体験をすることで、命をつなぐため「災害時の食」の備えの重要性を知り、災害時においても病気をせず健康に過ごすための食事の大切さを知る機会とします。



防災体験給食の様子（2025年9月1日 大屋小学校）

日時 2026年1月14日（水） 午前11時30分頃から午後0時15分頃

場所 関宮学園（養父市吉井180番地）電話：079-667-2759

対象 前期課程5年生 23人

内容 栄養教諭から防災についての授業を受けた後、非常食（アルファ化米）を調理し、授業当日の給食の「ご飯」として食べる体験をします。

（アルファ化米は、熱湯を注ぎ、20分程度待ちます。その間に給食の準備をして、出来上がるころに食べ始めます。）

※取材について

取材希望の方は、**養父市学校給食センターに連絡をお願いします。**

（学校へは給食センターから連絡しますので、学校への連絡はご遠慮ください）

受付時間 午前8時～午後4時45分

【問合せ】

養父市教育委員会 養父市学校給食センター 所長：藤盛 瑞穂 担当者：寺谷 静香
電話：079-664-1801